

2016年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築設備の基礎						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	堀英祐						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築技術者として地球環境保護の必要性とそのための役割について理解し、説明できる。 ・建築設備の全体像と役割、基本的知識を理解し、説明できる。 ・建物の快適室内環境を実現するための基礎的な技術手法を理解し、説明できる。 						
日程と内容	第1回 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回 地球環境保護、熱の流れ、流体の性質と流れ 第3回 給水設備の概要、各種給水方式の種類と特徴 第4回 受水槽容量、高置水槽容量、給水配管 第5回 衛生器具設備の概要 第6回 給湯設備の概要、給湯温度と給湯量 第7回 排水通気設備の概要、排水の種類と排水方式 第8回 排水トラップ、排水配管、通気配管 第9回 ガス設備の概要、都市ガス、LPガス 第10回 消火設備の概要 第11回 空気調和の概要 第12回 空気調和方式の種類と特徴 第13回 熱源機器と空調機器 第14回 湿り空気線図の基礎 第15回 冷暖房負荷計算の概要 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・建築技術者として地球環境保護の必要性とそのための役割について理解し、説明できる。←達成した ・建築設備の全体像と役割、基本的知識を理解し、説明できる。←達成した ・建物の快適室内環境を実現するための基礎的な技術手法を理解し、説明できる。←達成した 						
反省点	この科目は、講義授業であり、教科書の内容に即したスライドを準備して進めている。また、演習問題を準備し、理解度を高める工夫をしている。しかし、スライドでの説明だけでは、なかなか理解度があがらなかった項目もあるため、参照しやすい補足資料を準備するなどの工夫が必要だと感じた。						
来年度の計画	補足資料の作成、演習問題の内容について検討する。						
授業評価アンケートに対するコメント	多くの項目で平均点を僅かに下回った結果であった。大きく下回った項目はなかったものの、着任1年目の授業であったこともあり、全体的に準備不足であったと反省している。建築設備の専門的な内容を学ぶ初めての科目なので、難しい内容も含まれるが、ポイントを絞った説明や、学生の理解度を把握しながらじゅぎょうを進めるようにしたい。						
履修登録者数	84名	定期試験 受験者数	79名	合格者数	75名	合格率	95%